

## 宇部アートコミュニケーター事業（うーばー・プロジェクト）について

宇部の新しいアートコミュニティを創造する「うーばー・プロジェクト」を始めます。

### 1、「うーばー・プロジェクト」とは

アートを介してコミュニティを育むソーシャル・デザイン・プロジェクト「うーばー・プロジェクト」。

広く一般から集まったアートコミュニケーター（愛称：うーばー）と、大学や企業、様々な専門家などのプロジェクトチームと共に、そこにある文化資源とアートの力を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぐ活動を展開。アートでつながる多種多様な人々とのコミュニケーションを大切にし、そこで育まれる新しい価値観を社会に届けていきます。

### 2、アートコミュニケーター＝うーばーとは？

アートコミュニケーターは、サポーターやボランティアではありません。

アートの力、つまり一人ひとりの個性を認めう “ええね！の気持ち” でお互いを受け止め、活かし合い、“あったらいいな”、“やってみたいな”、といった様々な思いを、うーばーの皆さんと専門家、企業…などとともにかたちにしていく能動的なプレイヤーです。家でも学校でも職場でもない場所で、世代や職業を超えたメンバーと一緒に、コミュニケーション の場を創造し、新しい価値やゆるやかな関係づくりを提案します。

### 3、目指すこと、うーばーの役割

うーばー・プロジェクトは、一人ひとりの個性を認めあうアートの力で互いの可能性を受け止め、活かしあい、新しい価値と創造的なコミュニティを社会に届けることを目指します。

世代や職業を超えた人々が家でも学校でも職場でもない場所で、アートから生まれるコミュニケーションを通して、他者を他者として受け入れる許容力のある社会の実現、地域の文化的資源の活用、全ての人に開かれたアートとの出会いを創ることを目的とします。

うーばーは、アートや作品を介してコミュニケーションを促進し、人々に新しい価値観を届け、人々をつなぐ活動を行います。うーばーの活動は、従来とは違う価値観を提示するアートの力によって、誰もがフラットに参加できる場をデザインし、多様な人々を包摂できるしなやかで柔軟な社会基盤の構築を目指します。

### 4、活動のしくみ

うーばーは「基礎講座」と「実践講座」、「ラボ（研究などの場）」や「実践活動」を通して、うーばーとしての役割の理解を深めていきます。学ぶことと現場で実践することのサイクルがあることで、アートを介した活動がさらに充実したものになっていきます。

それぞれの関心に軸足を置きながら、互いに学び合うことを大切にしています。

## 5、講座内容

### (1)基礎講座

- ①アートの見方・楽しみ方・・・10月24日（土）
- ②「きく力」を身につける・・・11月14日（土）
- ③ この指とまれ／そこにいる人が全て式＋解散設定・・・12月5日（土）
- ④ アートコミュニティ的ミーティングを学ぶ・・・12月26日（土）

### (2)実践講座

- ①【人×作品】「つなぐ」講座＋実践活動・・・2月予定
- ②【人×コト】「生みだす」講座＋実践活動・・・3月予定

### 《現時点》

8月23日（日）に、先進地の事例などを紹介するシンポジウムを開催し、うーばーの概念・役割など説明し、35名（定員30名）の申込あり。  
9月19日（土）には、申込者にオリエンテーションを開催。

## うーばー・プロジェクトのモデル「とびらプロジェクト」

うーばー・プロジェクトは、2012年に始まった東京都美術館と東京藝術大学とが連絡した「とびらプロジェクト」に原型があります。

下記に、「とびらプロジェクト」の目指すことを紹介します。

### 《私たちの目指すこと》

「成熟した社会」と言われる現代の日本において、今後取り組まなくてはならない社会的な課題は、多様性の尊重とそのネットワーク化の2つであると考えます。

一つは人々の価値観や文化背景の違いなどを尊重することであり、二つ目は個々人の生き方を孤立させず、社会の中で関係づけていくことと捉えています。

多様な人々の多様な価値観を結びつけていけるアート・コミュニケータが社会の中で機能することにより、誰もが誰もを包摂できるしなやかで柔軟な社会基盤の構築を目指していきます。